

会期 令和5年(2023)

3.2(木) - 4.2(日)

企画展

えどのかきかぶきつらば

江戸粋 戯場 伊呂波

【中山道広重美術館スポンサー制度協賛企業】

○毎週水曜日は観覧無料、フリーウエズデー
〈スポンサー〉(株)三菱UFJ銀行、ナカヤマ・グループ、(株)デジタ
●毎週金曜日は観覧無料、フリーフライデー
〈スポンサー〉(株)銀の森コーポレーション、
楽園住宅・カネコ・木KeyPoint、(株)サラダコスモ ちこり村

中山道広重美術館

Hiroshige Museum of Art, Ena

会期 令和5年(2023)

3.2(木) - 4.2(日)

観覧料 大人520円(20名以上の団体は420円)
18歳以下無料、障がい者手帳をお持ちの方と
付き添いの方1名は無料
開館時間 9:30 ~ 17:00(入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日、3.22(水)
主催 恵那市、恵那市教育委員会、(公財)中山道広重美術館

江戸時代、浮世絵の主な画題といえば美人と役者、そして名所。中でも人気の歌舞伎役者が描かれた役者絵は、いわゆるブロマイドの役割を果たし、庶民の間でもてはやされました。元禄期(1688-1704)以降、浮世絵において美人画と並ぶ一大ジャンルとなった役者絵ですが、当初は類型化された表現が用いられ、役者一人一人が描き分けられることはほとんどありませんでした。しかし、明和年間(1764-72)に勝川春章(1726-92)、一筆斎文調(生没年不詳)という二人の絵師が役者の面貌を「似顔」で描くことを始め、また春章の弟子・勝川春好(1743-1812)は「役者大首絵」で役者絵の様式に新風をもたらしました。さらに、幕末の浮世絵界を席卷した歌川派の絵師たちは、似顔を基本としつつ理想的に美化された役者の姿を華やかに描き出し、多くの人々の心を掴みました。

本展では、当館所蔵の三代歌川豊国作品を中心に出版し、皆さんもよくご存じの大名跡やおなじみの物語など、時代を越えて愛される歌舞伎の世界を分かりやすくご紹介いたします。

関連イベント

◆中村いてうさんトークショー

「中村いてうさんと楽しむ江戸の役者絵」



恵那市出身の歌舞伎役者・中村いてうさんをお招きし、展示作品を鑑賞しながら、現代まで受け継がれる歌舞伎の魅力をお話していただきます。

日時 3.16(木) 13:00 ~ 14:00(予定)

場所 展示室1(1F)

参加費 無料(ただし、観覧料が必要です)

定員 30名 ※要事前申し込み

申込方法 電話または当館ウェブサイトに記載の申し込み
フォームからお申し込みください。

TEL 0573-20-0522

HP <https://hiroshige-ena.jp>

受付期間 2.25(土)9:30 ~ 3.4(土)17:00

※電話によるお申し込みは、期間内開館日の
9:30 ~ 17:00

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
当選者には3.7(火)に電話またはメール
でご連絡いたします。

◆学芸員による作品ガイド

日時 3.12(日) 10:30 ~ 30分程度

場所 展示室1(1F)

企画展

江戸粋戯場伊呂波

えどこのいりまかぶきのいろは

【図版】

三代歌川豊国

「木曾六十九駅 東都日本橋 御祭ノ踊 時致」

大判錦絵 嘉永5年(1852)10月 当館蔵

「曾我兄弟の仇討ち」でおなじみの曾我兄弟の弟・曾我五郎時致を演じるのは、七代目市川團十郎です。息子である六代目市川海老蔵が八代目團十郎を襲名する際、市川宗家のお家芸として「歌舞妓狂言組十八番(歌舞伎十八番)」を選定したことで知られています。役者絵に描かれる七代目は、迫力のある大きな目と力強い口元が特徴です。市川家得意の荒事で本領を発揮した他、実悪や色悪などもよくこなしました。



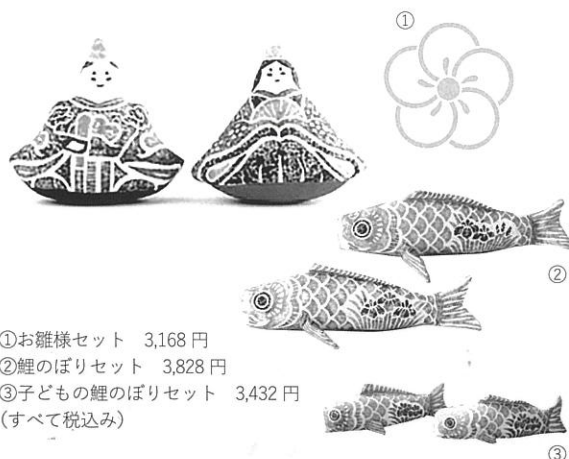
Museum
Shop
News

ミュージアムショップから

真工藝のお雛様と鯉のぼり

今回は春を先取りして、真工藝のお雛様と鯉のぼりをご紹介します。

真工藝は飛騨高山にある木版手染めの工芸品を制作、販売している会社です。柔らかな色彩のお雛様は陽だまりのような温もりがあります。鯉のぼりはマゴイとヒゴイのセットと、子どもの鯉のぼり2匹のセットの2種類ございます。どちらもお腹には薨(いらか)と菖蒲の花がデザインされています。お雛様、鯉のぼり共に手のひらサイズで場所を取らず、季節に合わせて気軽に飾っていただけます。



①お雛様セット 3,168円

②鯉のぼりセット 3,828円

③子どもの鯉のぼりセット 3,432円

(すべて税込み)

美術館ホームページ



ウェブミュージアムショップ



中山道広重美術館

Hiroshige Museum of Art, Ena

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町176-1
TEL (0573) 20-0522 FAX (0573) 25-0322
<https://hiroshige-ena.jp>
ウェブミュージアムショップはこちら↓
<https://enahiroshigemuseum.stores.jp>